

令和5年度 第2回 高知県公共事業再評価委員会
議 事 要 旨

令和6年2月1日(木) 13:30~16:00
オーテピア高知図書館 4F 研修室

大規模特定河川事業

◆主な意見等

委 員 : 今回の増額は、近年の資材価格の高騰を盛り込んでいるか？

河川課 : そのとおり。

委 員 : 今回の増額は、当初想定以上に地盤が軟弱であったことや、透水性が高かったことによるものが多かったが、当初、地盤調査等は実施していなかったのか？

河川課 : 標準的には200mから400mピッチでボーリングを行う。その間の部分において、地盤が悪い箇所が見つかったもの。

委 員 : B/Cについて、数値根拠を分かりやすく示してほしい。特に、今回の事業費増額分が、どの項目で計上されているかを示してほしい。

河川課 : 承知した。

委 員 : 災害が多い高知県であるため、予算の関係もあると思うが、計画的に整備をしていただき、県民の命と安全な暮らしを早期に確保してほしい。

河川課 : 近年は、国土強靱化に関する予算が措置されており、この予算を最大限に活用し、早期完成を目指していきたい。

委 員 : 志奈弥川について、「進入路が錯綜するため、施工計画を再検討し、矢板締切工を追加」とあるが、当初計画段階から分からなかったのか？

河川課 : 計画段階から検討していたが、すべてを把握することは難しい。重機が実際に現地に入って分かる場合もある。

委 員 : 事前に把握できない事象があるということは理解できるが、できる限り計画段階から状況把握に務めて欲しい。

河川課 : 承知した。

委 員 : これまで委員から指摘があった内容について、説明責任を果たすということは、再評価を行ううえで非常に重要なこと。引き続きよろしくお願ひしたい。

河川課 : 承知した。

和食ダム建設事業

◆主な意見等

委員 : 周辺環境整備が遅れるということであるが、ダムの運用開始は遅れないということか。

河川課 : そのとおり。

委員 : 期間延長に伴い、事業費が増えるということか。

河川課 : 事業費は変更しない。期間は延長するが、事業費は現状のまま。

委員 : B/Cが前回から変わっているのは、どういう理由か。

河川課 : マニュアル改定に伴うもの。

委員 : 今回は、マニュアル改定が理由とのことであるが、事業の中身の変更がある場合は、前回との違いを説明するようにしてほしい。

河川課 : 承知した。

生活貯水池ダム建設事業

◆主な意見等

委員 : 事業がスタートした時の事業費はいくらか。

河川課 : 66億円。

委員 : 今回の再評価で168億円に変更するということは、当初事業費の倍以上になる。必要な事業費増であることは理解できるが、B/Cが1を切らないよう、工事の延長・遅延がないように注意してほしい。

河川課 : 承知した。

委員 : リスク対策費を計上するとのことであるが、不要になった場合は返却するのか。

河川課 : そのとおり。

委員 : 第1ダムと第2ダムを別々で管理するようになったのはなぜか？

河川課 : 近年の社会情勢を踏まえ、ダムの適切な管理を進めるうえで、流水を安全に流下させるためには、分けて管理する方が適切と判断。

委員 : (P.21-P.22) 道路の詳細設計において、掘削量が大幅に増えるとのことであるが、残土処分場は大丈夫なのか。

河川課 : 残土処分場については、この掘削量も含めて選定しているため、問題無い。

委員 : 地方では完成が遅れるとともに人口も減ってしまう。なるべく工期の遅延がないように進めて欲しい。

河川課 : 承知した。

事業間連携砂防等事業

◆主な意見等

委員 : B/Cについて、維持管理費が大幅に下がっている理由・根拠は何か。
防災砂防課 : マニュアルの見直しに伴うものであるが、過去 50 年間における維持管理の実績額をもとに算定。

委員 : 資材高騰等もあるが、事業費増は必要ないのか。
防災砂防課 : 必要ない。

委員 : 今回の施工期間の変更に伴い、事業費増は必要なかったのかを確認したい。次回からその点を分かりやすく説明していただきたい。
防災砂防課 : 承知した。